

和歌ノ浦BE活動レポート vol.1

「和歌ノ浦から考える“海洋都市” 和歌山のこれから」
と題して令和7年2月15日にシンポジウムを開催しました！

1. 開会



理事長の楠部より、シンポジウムの開催趣旨とともに、開会のご挨拶をさせていただきました。

当NPOは、本当は和歌浦湾の真ん中に住所を置きたいくらいです。
多様な人々・ステークホルダーと協奏する“つなぎ目”の団体に成長していきたいと思います。

ご来賓の尾花和歌山市長よりご挨拶を頂戴しました。
シンポジウム開催のお祝いとご参加していただいた皆様や当NPOの活躍を期待してくださるお言葉ありがとうございました！



2. 基調講演



認定NPO法人グリーンバレー前理事長大南信也氏より『偶発性をデザインする～人口5,000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか～』と題しましてご講演いただきました。

多彩なレジデンスにより多様な創造人材が集まり、関係人口となり進化する神山町には圧巻です！
人間の豊かな未来を創造するために必要な力を「まるごと」学習する“神山まるごと高専”のような学校が日本中にできて欲しい、と考えると日本の未来にワクワクしました！

尾花市長のご提案で撮影した集合写真



3. パネルディスカッション

【パネリスト】

認定NPO法人グリーンバレー前理事長大南信也氏

健勝丸漁師池田佳祐氏

(一社)Kii-Lab 代表理事岩永淳志氏

(公財)笹川平和財団海洋政策研究所小原朋尚氏

【コーディネーター】

和歌山工業高等専門学校教授楠部真崇（当NPO理事長）



池田氏からは、宿泊施設や食堂等の地域活性化にも取り組まれ、漁業を持続可能なものにしていく雑賀崎での活動をお話いただきました。

岩永氏からは、大学生時代から美浜町で活動し、卒業後も古民家を購入、移住し、継続して美浜町の魅力を引き出す活動をお話いただきました。



小原氏からは、持続可能な海洋の利用を実現するため、次世代の海洋リーダーを育成する海洋教育の必要性についてお話いただきました。

皆様のお話の後、大南氏とともにディスカッションを行いました。

これまでの成果や今後の新たな展開、描く未来などについて、色々な意見が出ました。パネリストの皆様の方々の今後の活躍から目を離せません！

4. 閉会



当NPO顧問の信時より、シンポジウムの閉会のご挨拶。

当NPOは、これから海洋教育を中心に、様々なことにチャレンジしていきます。海洋都市和歌山の発展について、参加者の皆様と共に充実した議論の場にしていきたいと思います。